

意欲ある地方の創意工夫を全力で応援

内閣総理大臣代理 内閣官房副長官 萩生田 光一

全国町村長大会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

町村長の皆様には、日頃から、住民の最も身近な代表として、地域社会の発展や福祉の向上のため、ご尽力されていることに、心から敬意を表します。

さて、先月発足した第三次安倍改造内閣は、「一億総活躍社会」の実現に向けて、我が国にとって構造的な課題である、少子高齢化の問題に真正面から立ち向かい、五十年後も、「人口一億人」を維持することを、明確な国家目標として掲げました。最も大切なことは、「一億人」の一人ひとりが、それぞれの能力を発揮して活躍できる社会を創ることです。

政府としては、町村の皆様がそれぞれの特徴を活かして活力のある地域づくりをできるよう、２８年度予算において新型交付金を創設し、「地方版総合戦略」の実施を強力に支援するなど、意欲ある地方の創意工夫を全力で応援してまいります。

地方分権改革につきましては、今年度も、現場の生の声が多数寄せられています。安倍内閣は、「地方の発意による、地方のための改革」となるよう、地方の声に徹底して耳を傾け、いただいた提案の実現に向けて、引き続き、強力かつ着実に改革を実行してまいります。

安倍内閣は、町村の皆様と緊密に連携し、元気で豊かな「地方の創生」を更に前に推し進め、誰もが将来に夢や希望を持って活躍できる社会の実現を目指してまいります。

町村長の皆様におかれては、今後とも、地域の先頭に立って、豊かで活力のある地域を創り上げるため、遺憾なく力を発揮されますことにご期待申し上げますとともに、国が進める諸政策へのご協力を改めてお願い申し上げます。

結びに、全国町村会の益々のご発展と、本日ご列席の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。